

はまなす

公益社団法人 北海道看護協会
札幌第4支部だより

■発行所：公益社団法人 北海道看護協会札幌第4支部 編集責任者 飯野智恵子

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION **HAMANASU**



撮影：耳鼻咽喉科麻生北見病院 村田 保博

Contents

- 令和2年度 札幌第4支部 支部長挨拶
- 令和2年度 札幌第4支部 新役員紹介
- 令和2年度 札幌第4支部 委員会紹介
- 令和2年度 札幌第4支部 大会報告・講演会
- 令和2年度 研修計画・研修案内
- TOPICS 施設紹介
医療法人社団 藤花会 江別谷藤病院
- わたし達「ピカピカの新人看護師」
フレッシュナース 他



令和2年度
札幌第4支部

支部長挨拶

ご挨拶

支部長 飯野 智恵子



緑の眩しい季節となりましたが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より支部活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、東京オリンピック開催年を迎えた本年、全国がオリンピック一色に移行するものと誰もが思っていたのではないかと思います。中国湖北省武漢市から発生した新型コロナウイルスが札幌雪祭りを境に札幌で感染が拡大し、全国で猛威を振るう状況となりました。北海道では2月28日異例の緊急事態宣言

が発令され、道民生活に困惑と支障を来すこととなりました。

このような社会情勢は私達看護職にも多大な影響を及ぼし、様々な医療機関、施設等においても混乱を招くこととなりました。

当支部においては、北海道における緊急事態宣言発令前の令和2年2月22日（土）に札幌第4支部大会を開催致しました。新型コロナ感染者数が日毎に増す中での開催には是非もあり、北海道看護協会と相談をした上で講演会も同時開催とし125名の会員の皆様に参加いただきました。

令和1年度も会員皆様のご協力により支部事業を無事終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。令和1年度札幌第4支部会員数は4530名で目標達成率は103%となりました。令和2年度も支部事業を円滑に運営していく為にも、さらなる入会率の向上も目指し取り組んで参ります。

令和2年度の札幌第4支部の事業につきましては、第1副支部長と書記1名の2名の新役員を迎え新たな委員と共にスタートしております。

今年度予定しております事業計画は、看護職確保定着推進に関する事業である5月「看護の日」のイベントや各施設にご協力いただく「ふれあい看護体験」、以降、看護の質向上に関する事業として（1）看護研修事業では「看護過程を理解し看護実践へいかす」「地域包括実現に向けた看看連携」、（2）医療安全に関わる事業では11月に「災害支援（仮）」を交流会とし、より多くの方に参加していただけるよう準備を進めております。（3）その他、保健師、助産師、看護師職能委員会主催の研修会等、今年度も多数企画しております。また、会員懇談会や管理者懇談会など他支部合同の研修会も企画しております。今年度は札幌第4支部がメインになり札幌4支部合同の会員懇談会を9月に予定し準備を進めております。

新型コロナウイルスの感染収束の先が見えぬ中、北海道看護協会におきましても5月迄の研修会等の中止や自粛要請期間中の事業実施の見送りが発表されております。

今後の支部活動においても予定通り事業が遂行できますか不透明な状況はございますが、北海道看護協会と連携をとりながら進めて参ります。

地域包括ケアシステムが推進により、地域の中で顔の見える連携が看護職により求められます。今年度もなお一層、会員の皆様のご協力ならびにご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新役員紹介



第1副支部長 **本間 祥子**

この度、札幌第4支部第1副支部長を拜命いたしました。今年は、2期3年目となります。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響下の中、会員の皆様はじめ、看護職の皆様が非常にお忙しく対応に追われる日々をお過ごしのことと思います。支部の皆様と地域交流を深め、役員の職責を果たせるよう、支部長はじめ役員の皆様のお力を借りながら活動してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



札幌第4支部 書記 **岡本 千秋**

はじめまして。2020年度から1期2年間、札幌第4支部書記を務めることになりました、北海道大学病院 岡本千秋と申します。今までは研修に参加する立場でしたが、これからは研修を企画・運営する側となり、役割の大きさに大変緊張しています。看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、第4支部でも様々な研修が企画されているため、私も皆さんと共に学んでいきたいと思っています。会員の皆さまの期待に応えられるよう支部長はじめ、皆さんにご指導をいただきながら役目を果たしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



委員会紹介

助産師職能委員会



昨年度は、諸事情により途中から3名で活動してきましたが、今年度は新しいメンバー1名を迎え4名で活動をスタートしています。

今年度も4支部合同で「母体感染のリスクと対応」(クロックミップ関連研修)と「精神科ハイリスク妊産褥婦への評価と対応」をテーマに同日研修を開催する予定です。後者の研修企画を第4支部が担当し、不慣れながらも有意義な研修となり多数ご参加していただけるよう準備を進めています。

働き続けられる職場づくり推進委員会



2025年、北海道の看護職は約1400名の不足が見込まれるとの推計結果が出ています。今後は、多様な人材の活用も想定した「働き続けられる職場づくり」はますます重要な課題です。そして、どうしたら「働き続けられる職場」をつくるのが出来るのか、一人一人が取り組める事は何か、学ぶ機会を作ることが私たちの役割であると考えます。諸先輩方のご指導とご協力をいただきながら委員会活動の推進に努め、施設間交流や支部学習交流会を通して皆さまと共に学びたいと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

保健師職能委員会



保健師職能委員会は、行政、訪問看護ステーション、医療機関の3領域4名の保健師で活動いたします。保健師の活動領域は、多岐にわたりますが、日頃の活動を通して情報

交換しながら、委員会としての役割を果たしていきたいと思っております。

今年度の4支部合同保健師職能集会は、令和2年10月24日(土)「大人の発達障害について」(仮)をテーマに、札幌学院大学名誉教授 二通諭先生をお迎えする予定です。多数のご参加を心からお待ちしております。

看護師職能委員会



今年度、看護師職能委員長を務めさせていただきます。委員2年目で委員長という大任を担うこととなりました。責任の重さを感じておりますが、皆様のご指導・ご鞭撻のもと、任務を遂行していこうと思っております。

職能委員会は、看護職・介護職を対象に年2回研修会をご案内しています。今年度も昨年同様、皆様喜んでいただける研修会の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

教育委員会



教育委員会は4名の新メンバーを加え8名体制で活動を開始します。7月には支部企画研修「地域包括実現に向けた看看連携」、8月には支部担当研修「看護過程」、そして、10月(予定)には看護研究研修を実施予定です。支部会員の皆様に、

「参加したい」「参加してよかった」と思われる研修を目指して、抜群のチームワークで誠心誠意取り組んで参ります。委員一同多くの方の参加をお待ちしております。(また、ひそかに教育委員会内部の業務改善、業務の効率化に取り組んでいます。次に続く方のためにもキラキラ8名頑張ります!)

推薦委員会



今回推薦委員会の役割5名の委員で実施することになりました。

推薦委員の役割は初めてですが、会員の皆様の力を借りて、5名の委員で力を合わせて実施していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会



今年度の広報委員は、昨年からの継続2名に新任2名が加わり4名体制となりました。最大の仕事は年2回の札幌第4支部だより「はまなす」を皆様へお届けするための、取材活動と企画・編集です。イベントや各委員会主催の研修会などを取材させていただき、支部活動の様子を皆様にわかりやすくお伝えできるよう頑張りたいと思います。表紙の写真など、掲載したい写真・情報などがありましたら、是非ご連絡ください。1年間、どうぞ宜しくお願い致します。

令和2年度 北海道看護協会

札幌第4支部大会報告

日時：令和2年2月22日(土)
会場：札幌サンプラザ
参加人数：125名



令和元年度北海道看護協会札幌第4支部大会が札幌サンプラザにおいて開催されました。飯野智恵子支部長より、令和元年度支部会員数は現在4530名に達したこと、令和2年度の支部会員目標数は4705名(前年度より175名増)を目指すことが報告されました。

次いで、報告事項では令和元年度事業・決算見込と令和2年度事業計画・予算案について、選任事項では令和2年度の代議員・予備代議員の選出と札幌第4支部役員・推薦委員の選出が行われました。その後、役員・推薦委員の選挙が行われ、令和2年度の新たな役員と推薦委員が参加者全員の承認のもと新体制が決定しました。

講演会

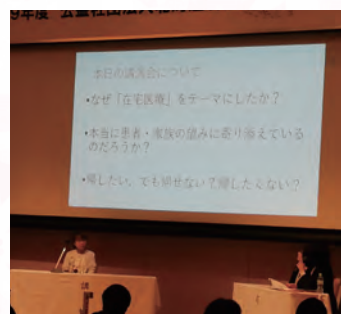
テーマ：「安心してお家に帰ろ!」と言える看護師になろうよ
～在宅医からエールいただきます～

講師：医療法人札幌手術センター札幌麻酔クリニック 金谷 潤子 先生

支部大会に引き続き、金谷潤子先生を講師にお迎えし、在宅医療についてのご講演をいただきました。今回は、司会者が質問形式で進行を行い、テーマに沿って、先生の経験に基づいた貴重なお話をさせていただきました。

近年はメディアの影響などもあり、在宅医療についての認識も増えており、医師が説明をしっかりと行えば出来ないケースはないということでした。他職種連携は必須であり、頭をやわらかく臨機応変に考えていくことが必要であり、そこでは看護職が先頭に立って進めていくことが重要であると改めて学びました。

会場の訪問看護師からの貴重な意見もあり、先生には、終始たのしく、わかりやすく、そして熱く語っていただきました。在宅医療の重要性を再認識し、「安心してお家に帰ろ!」といえる看護師になれるだろうかと改めて考えさせられる講演会となりました。



講演「安心してお家に帰ろ!」と言える看護師になろうよ
～在宅医からエールいただきます～
講師 医療法人札幌手術センター札幌麻酔クリニック 金谷 潤子 先生

令和2年度 研修計画・研修案内

日時	場所	主催・担当	テーマ	講師
7月11日(土) 中止	北海道看護協会	教育委員会	支部企画研修 「地域包括実現に向けた看看連携」	北海道医療大学訪問看護 ステーション 佐藤 明子 氏
7月18日(土) 中止	未定	看護師職能委員会	第2領域研修 「持ち上げない介助」	札幌さがクリニック 富田 理恵 氏
7月18日(土) 中止	読売北海道ビル	助産師職能委員会	札幌4支部合同主催研修 【AM】母体の感染管理とその対応 【PM】精神科ハイリスク妊産褥婦への評価と対応	札幌市立病院 平山 恵美 医師 北見赤十字病院 柏木 智則 医師
8月予定 中止	北海道看護協会	教育委員会	支部担当研修 「看護過程を理解し、看護実践にいかす」	北海道科学大学 教授 飯島 美樹 氏 または石川 氏
8月22日(土) 中止	ANAクラウン プラザホテル	看護管理者懇談会	未定	未定
9月12日(土)	札幌サンプラザ ホテル	働き続けられる職場 づくり推進委員会	支部学習交流会 「職場におけるハラスメント」	社会保険労務士法人 北海道賃金労務研究所 石田 和彦 氏
9月26日(土)	札幌ビューホテル 大通公園	会員懇談会	「意思決定支援」	川口 篤也 氏
10月10日(土)	札幌サンプラザ ホテル	看護師職能委員会	第1領域研修 「患者の感情表出を促進させる コミュニケーション～NURSE～」	北海道大学病院 がん看護専門看護師 石岡 明子 氏
10月24日(土)	ANAクラウン プラザホテル	保健師職能委員会	札幌4支部合同主催研修 大人の発達障害について	札幌学院大学 名誉教授 二通 諭 氏
10月24日(土)	札幌サンプラザ ホテル	教育委員会	支部企画研修 「臨床における看護研究」	札幌市立大学 看護学部 武富 貴久子 氏
11月7日(土)	札幌サンプラザ ホテル	役員会	医療安全研修・交流会 「災害支援」	北海道災害支援アドバイザー 太田 晴美 氏
令和3年 2月27日(土)	札幌サンプラザ ホテル	支部役員	令和2年度支部大会・講演会 「詳細は未定」	未定

「新型コロナウイルス感染症の終息する見通しが立たず、今後も感染拡大防止対策を継続する必要があると考え、8月までに開催予定の研修会を中止することにいたしました。9月以降の予定に関しましては、改めてご案内させていただきます。ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。」



Topics

施設紹介

医療法人社団 藤花会
江別谷藤病院

この街の医療を守りたい ~安心できる医療と心があたたかくなる笑顔を伝えます~

当院は昭和44年現在の地に脳神経外科・脊柱外科を基本とし、救急も組み入れた形で122床の個人病院を開設したのが始まりです。時代を感じさせた建物から平成26年3月に新病院に移転しました。現在は、整形外科・外科・麻酔科・脳神経外科・内科・循環器科・リハビリテーション科・皮膚科・人工透析と科目も増え、全ての患者様に満足いく医療を提供できるよう正確で敏速な対応に心掛けています。

病棟は救急や手術患者へ対応できる急性期一般病棟、その後自信を持って在宅へ移行できるまでの期間の地域包括病棟床、障害・後遺症のため入院が必要な方の障害者病棟と患者様の状況に合わせた病床があります。病室は全室を個室といたしました。個室とすることでプライバシーに最大限の配慮をすると同時に、個室前の廊下を約5メートルの幅を持つホールとすることで約10室のユニットを形成し、多人数室と同じようなコミュニティーを実現しました。食事や病棟でのリハビリなど、いろいろな場面で活躍しています。広さとプライバシーを更に重視した有料型個室もあります。

ライフラインは、水道水を含め病院で使う水は地下水を膜濾過で浄水化し、一般医療行為が十分行える容量の自家発電を設置したことで、万が一の災害時にも安心して医療を継続することができます。

病院のキーコンセプトは心からの「笑顔」です。それは、治療を受けられる人たちの「笑顔」治療を受けられる人の家族の「笑顔」働く人たちの「笑顔」です。看護部は働く者自らが「笑顔」でいられるために“楽”ではなく仕事を“楽しむ”心を持った看護師になれるよう、業務ではなく相手のある仕事として日々患者様との関わりを大切にしています。設備やシステムも十分に使いこなして皆さんを「笑顔」で迎え入れ、皆さんに「笑顔」で帰っていただくこと。その事を最大の目標にこれからも日々努力・勉強に努めていきます。

医療法人社団 藤花会 江別谷藤病院
〒069-0812 江別市幸町22番地
☎ 011-382-5111



病棟ホール



集合写真



職員食堂



病室

社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院

当院では、4月から新卒の看護師12名を迎え、新年度を迎えました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りに、新入職員の対応ができない状況です。入職時オリエンテーション、新人技術演習も集合研修はできず、OJTを中心にしています。その中でも、「3密」を回避できる工夫をして病院内のICTと相談しながら、必要最低限の研修の形で実施しています。

どこの施設でも苦勞をしながら新入職員を迎え入れていると思いますが、この難局を乗り越えていきましょう。



フレッシュナース

研修風景



会 員 募 集

北海道看護協会札幌第4支部では、看護の質の向上をめざした活動や事業を行っています。また、看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、多岐に渡る研修が準備されています。研修に参加して友達の輪を広げましょう。入会は、右記までご連絡ください。

連絡先 北海道看護協会総務課

電 話 011-863-6731

会 費 16,500円

募 集 中 の

テ ー マ

表紙写真

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品・ペット紹介など、なんでもOKです。

施設紹介・スタッフ紹介

自薦他薦かまいません（写真数枚、本文400字程度）

連絡先

札幌第4支部 広報委員会
耳鼻咽喉科麻生病院 看護部
郡 清子
E-mail: kori@jibiazabu.or.jp

編集後記

毎日、新型コロナウイルス対策で忙しいことと存じます。外出自粛開始から数か月が経ち不自由な環境に置かれると、いつも当たり前のように過ごしていた日々が実は有り難い日々だったことに気付かされます。

自由に外出できること、人と接すること、そして働けること。「当たり前」ではなく「感謝」の気持ちを忘れずに家族や仲間と協力して、今この時期を乗り越えていきましょう。（記：郡）



札幌第4支部会員数

保健師：99名 看護師：3,921名

助産師：141名 准看護師：134名

2020年4月末現在：4,295名
令和2年度札幌第4支部目標会員数：4,705名